

第73号 通巻13巻 第6号  
 1994年3月30日発行  
 守山市立埋蔵文化財センター  
 ☎0775-85-4397  
 〒524-02  
 守山市服部町2250番地

## はじめに

先日、河原の土手でフキノトウを見かけ、春がすぐそこまでやってきていることを実感しました。とはいえ気候の変わり目、風邪を引かれている人も多いのではないのでしょうか。さて、年度末をむかえ市内の各発掘現場も慌ただしく終盤をむかえています。今号では1月から3月にかけて行った発掘調査の紹介と、平成5年度の調査を一覧表にしてその足どりを振り返って見たいと思います。

### 【発掘調査だより】

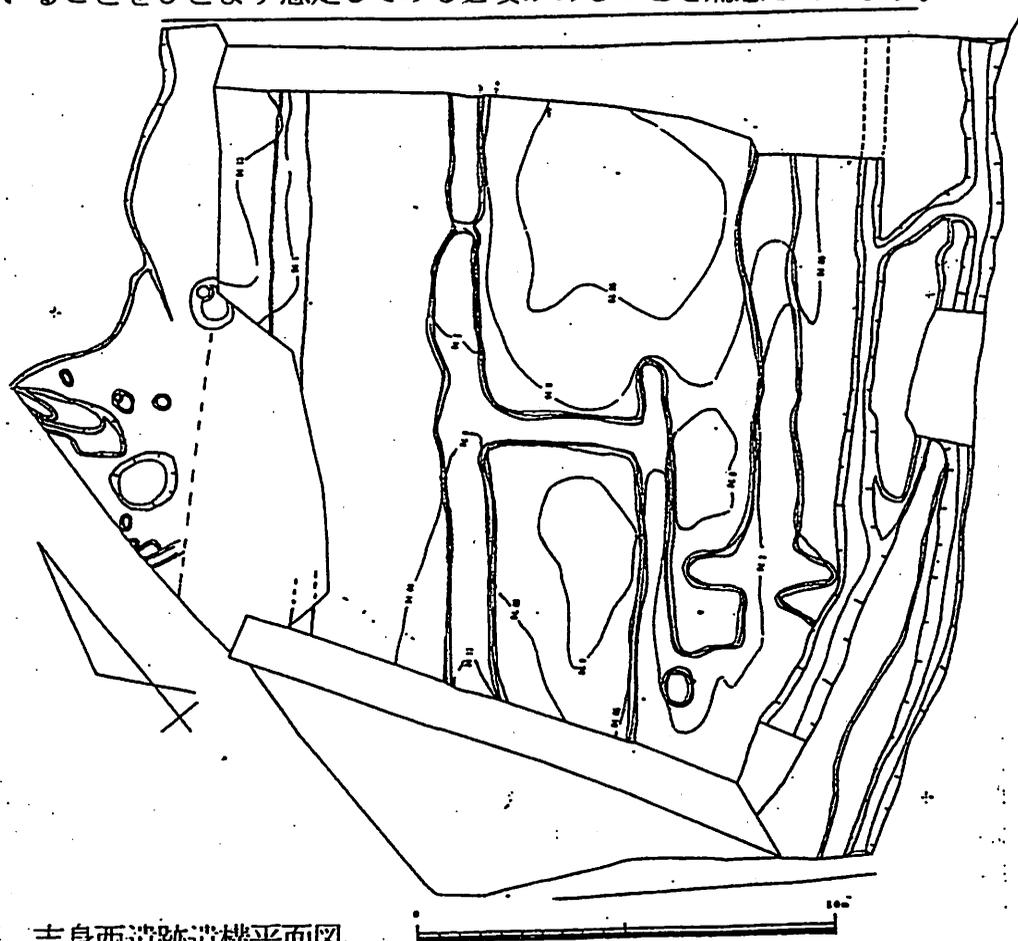
#### ◆ 吉身西遺跡の調査

成人病センターの南側で河川改修工事に先立ち約1800㎡を対象に1月中旬から発掘調査を行っています。現在、その半分にあたる約900㎡について調査を進めている最中です。その結果、縄文時代末から平安時代末にかけて流れていた旧河道や、弥生時代後期から古墳時代前期にかけての土壌、古墳時代後期の竪穴住居掘立柱建物などを検出しています。調査地の中央では幅25m、深さ約2mを測る旧河道が検出されました。この川は東から西に向かって流れていたと考えられ、

番号	遺跡名	所在地	調査原因	調査期間	調査面積
①	欲賀南遺跡	欲賀町	ほ場整備	前年度より継続調査	約10,000㎡
②	八ノ坪遺跡	播磨田町	宅地造成	12/13～	約10,000㎡
③	伊勢遺跡	伊勢町	区画整理	10/21～	約10,000㎡
④	吉身西遺跡	守山町	河川改修	1/17～	1,800㎡
⑤	二ノ畦遺跡	守山町	店舗建築	1/2～	約930㎡
⑥	酒寺遺跡	播磨田町	個人住宅	2/28～3/11	694㎡
⑦	酒寺遺跡	播磨田町	店舗建築	3/10	90㎡
⑧	益須寺関連遺跡	守山町	道路改良	2/9～3/3	300㎡
⑨	益須寺関連遺跡	吉身町	宅地造成	3/1～3/17	200㎡
⑩	二町鏡遺跡	二町町	宅地造成	3/1～3/8	1,164㎡

【平成6年1月～3月30日までの発掘調査】

下層では縄文時代末、上層では平安時代末の土器が出土したことから、長い時間をかけて埋もれた野洲川の支流のひとつと考えられます。川の東側では長径約2 m、短径1 mほどの土壌が10基以上検出されていて、弥生時代後期から古墳時代前期の土器が出土しています。形や配置からみて土壌墓の可能性がありますが、川の西側では古墳時代中期から後期にかけての竪穴住居、掘立柱建物がみついています。柱穴が密集して検出されていることから、居住空間として利用されていたものとみられます。中央部で検出された旧河道は、その埋没過程で水田として利用されていて、古墳時代後期の畦や水田に水を引いた溝などが検出されています。水田は流れに沿って細長く区画されていて、地形に合わせて水が張れるように工夫されています。川を利用した水田は4面想定され、現在その第2面目を調査中ですが、次号ではその内容についてお伝えできるものとおもいます。調査を進める過程で、旧河道肩口の遺構の検出を急いだことから、水田遺構の一部を掘削してしまうことになりました。埋没した旧河道が検出された場合、水田が埋もれていることをひとまず想定してみる必要があることを痛感しています。



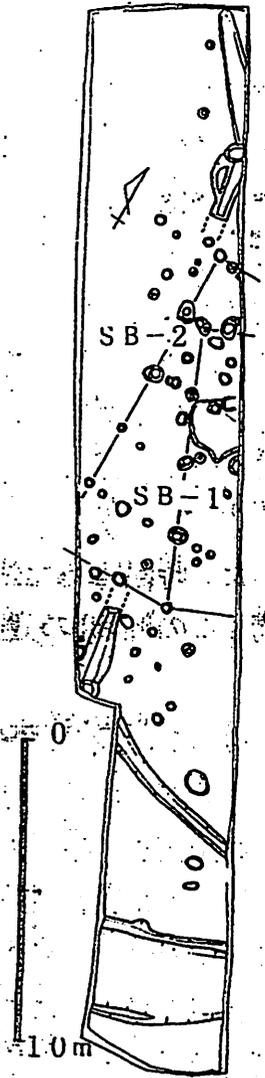
▲ 吉身西遺跡遺構平面図

#### ◆ 益須寺関連遺跡の調査（その1）

平成6年2月9日から市道下之郷吉身線の道路改良工事にともない、市立吉身小学校グラウンド南東隅に面した部分で発掘調査を実施しました。幅7.5m、長さ35mのトレンチを設定し約260㎡を対象に調査を実施しました。調査の結果、遺構が西側では水田面の直下で検出されたのに対して、東側では約15cm下で検出されたことから旧地形は西に高く東に低い土地であったことが分かりました。また検出された遺構は平安時代（9世紀後半～10世紀中頃）の掘立柱建物と溝でした。建物の規模は南北5間以上、東西1間以上のもものと南北4間以上、東西2間以上と予想されます。なお、柱穴からは完形の緑釉皿が1点出土しています。

#### ◆ 益須寺関連遺跡の調査（その2）

個人アパート建築に先立ち約200㎡を対象に発掘調査を実施しました。その結果、平安時代（9世紀末）の掘立柱建物2棟以上が検出されました。SB-1は南北2間以上、東西2間以上でSB-2も同様な規模です。SB-3は東西2間以上、南北3間以上の建物です。このほか、弥生時代後期から古墳時代前期にかけての幅の細い溝が1条検出されました。平成2年度におこなった調査では、この周辺では方形周溝墓が見つかったことから、今回見つかった溝は周溝墓である可能性が高いと考えられます。



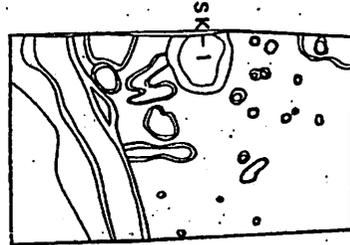
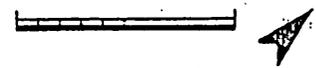
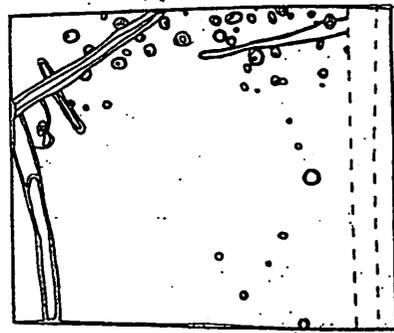
▲益須寺関連遺跡平面図

#### ◆ 酒寺遺跡の調査（その1）

個人の店舗建築に先立ち、播磨田町地先で約90㎡を対象に確認調査を実施しました。調査の結果、水田地表下約30～45cmで縄文時代後期の包含層と、その下で縄文時代後期の土壇状遺構と浅い溝状遺構（幅3m、深さ40cm）を検出しました。縄文時代については、叩き石1点、石錘1点、サヌカイト片2点と土器の細片など約60点が出土しました。この地域では後期の遺物が調査中に細片で出土することが知られていましたが、地表下約45～50cmで一部に遺構が存在することが今回はじめて確認されました。

◆ 酒寺遺跡の調査（その2）

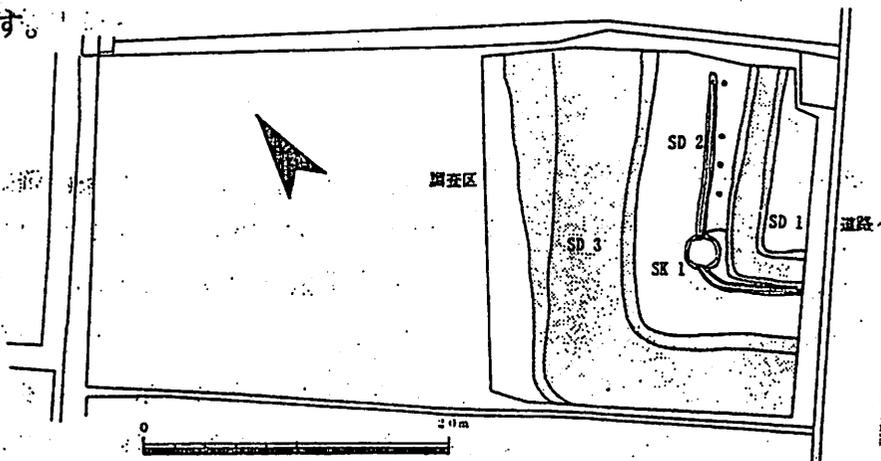
今回の調査地は播磨田町の土地区画整理区域で、個人住宅の建築に先立ち2月28日から3月11日の期間実施しました。当地前面の道路も土地区画整理事業施工前に発掘調査して古墳時代後期の掘立柱建物が確認されていますが、今回の調査でも同時期の建物・土壇・溝が図の通り見つかりました。第1調査区で検出したSK-1は深さ1.1m、径約3mの不整形形状の土壇ですが、ここからは多数の須恵器が出土しました。時期は6世紀後半で、柱穴・土壇・溝もこの時期の遺構と考えられます。



▲ 酒寺遺跡遺構平面図

◆ 二町鏡遺跡の調査

3月1日から3月8日までの期間、二町町の水田地において宅地造成に先立ち発掘調査を実施しました。今回の調査地は、平成2年度の都市計画道路建設の際に行われた調査の隣接地にあたります。平成2年度の調査では鎌倉時代から室町時代にかけての建物や井戸、さらにそれを取り囲む濠が見つかりました。今回の調査ではそれに続く2条の区画溝と濠の跡が見つかりました。濠は幅4~5m、深さ1.5mと大規模で調査区の南西隅でL字状に折れ曲がっています。この濠の内側では以前の調査で掘立柱建物が見つかりしていることから、集落を取り囲む濠と考えられます。

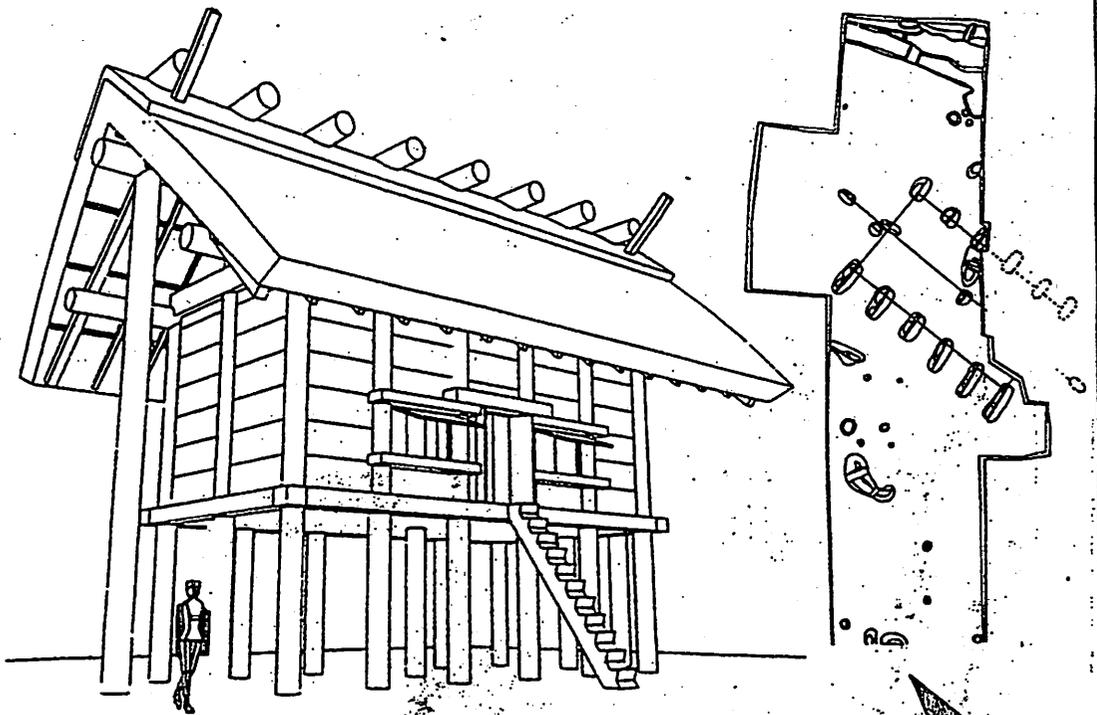


▲ 二町鏡遺跡平面図

### ◆ 伊勢遺跡第28次調査

区画整理事業に伴い調査を実施している伊勢遺跡で今回、弥生時代後期の大型高床建物が見つかりました。この建物は南北に長軸をとる5間×1間の独立棟持柱付建物で（拡張調査の結果判明）、妻柱の外側2.3mに棟持柱、建物の中央に東柱があるのが特徴です。柱間距離は桁行9.1m、梁行4.6mで床面積は42㎡あります。柱穴は外側に傾斜をつけていて、柱を落とし込みやすい構造になっています。桁側柱穴は大きいもので1.8m×80cm、小さいもので90×70cmを測り、西側桁列に比較して東側桁行や棟持柱、東柱は小振りといえます。柱根はヒノキ材で、直径25～35cm（断面観察から直径30～40cmと推定）、長さ50～80cm程が残っていました。遺物は柱穴から弥生土器の小破片が少量出土しているほか、炭化米が少量出土しています。

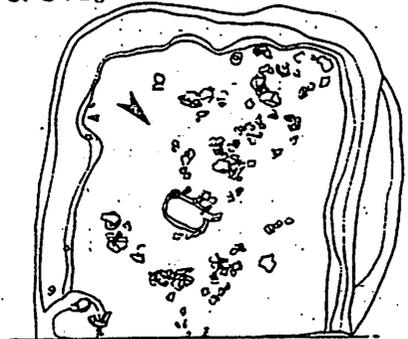
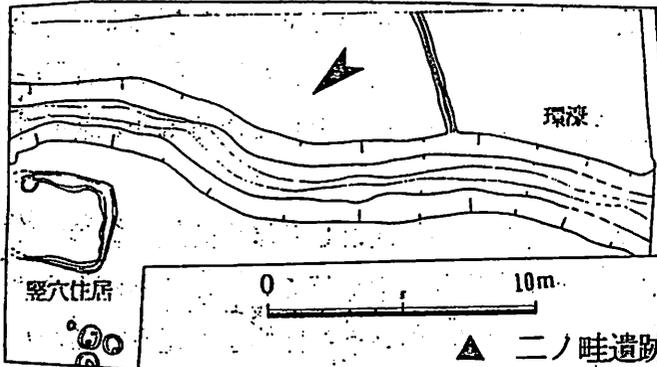
平成4年にはこれより東側約70mの地点でこの時期としては全国最大級の大型建物が発見されていて、この一帯が伊勢弥生集落の中核部であったことが想像されます。前回みつかった大型建物は王が住む高殿のような性格が考えられるのに対して、今回見つかった建物は祭祀を行う場、つまり祭殿ではないかと考えられます。いずれにしてもこのような大型建物が近接して見つかる例は珍しく、伊勢遺跡が当時のクニの中心部にあたる集落であった可能性が高いと考えられます。



▲ 伊勢遺跡大型建物平面図と復元図(大上直樹氏作図を一部修正)

### ◆ 二ノ畦遺跡の調査

1月下旬から吉身町宇西ノ日の水田地で930㎡について共同住宅建築に先立ち発掘調査を行っています。今回の調査地は、昭和61年度に宅地造成に先立ち発掘調査が行なわれた地点の隣接地にあたります。前回の調査では竪穴住居8棟と環濠1条が検出されていますが、今回それに続く環濠と竪穴住居3棟が見つっています。検出された竪穴住居は円形2棟、方形1棟です。方形住居は3.4×4.2mを測る長方形をしていて多量の弥生土器が出土しました。



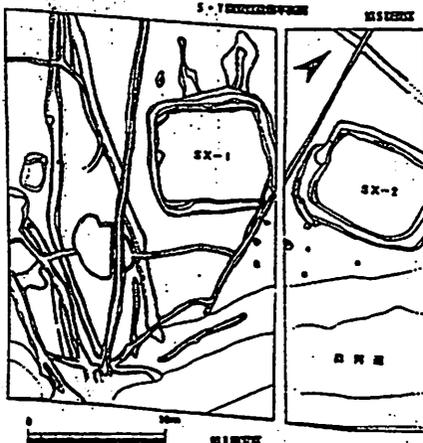
▲ 二ノ畦遺跡遺構平面図

### ◆ 八ノ坪遺跡の調査

八ノ坪遺跡の発掘調査は現在2,500㎡をほぼ終了しています。前号で溝と直径20~40cmの円形のピットが連続する5条の柵列について報告しましたが、その後方形周溝墓と旧河道が見つかりました。方形周溝墓は第5調査区と第7調査区で2基検出しました。SX-1はほぼ9.5m四方の規模を測りますが、SX-2は東西10m、南北8mと長方形状となります。築造の時期については現時点では弥生時代中期と考えています。また、方形周溝墓の東側は緩やかに傾斜する旧河道が存在します。この旧河道は西側から流れ込む幾筋もの流路が集束した結果で、ここからは多量の土器が出土しています。土器は古墳時代前期の土師器で、平成

6年度調査予定地（第5・7調査区西側）

には、この時期の集落が営まれていたものと推測されます。

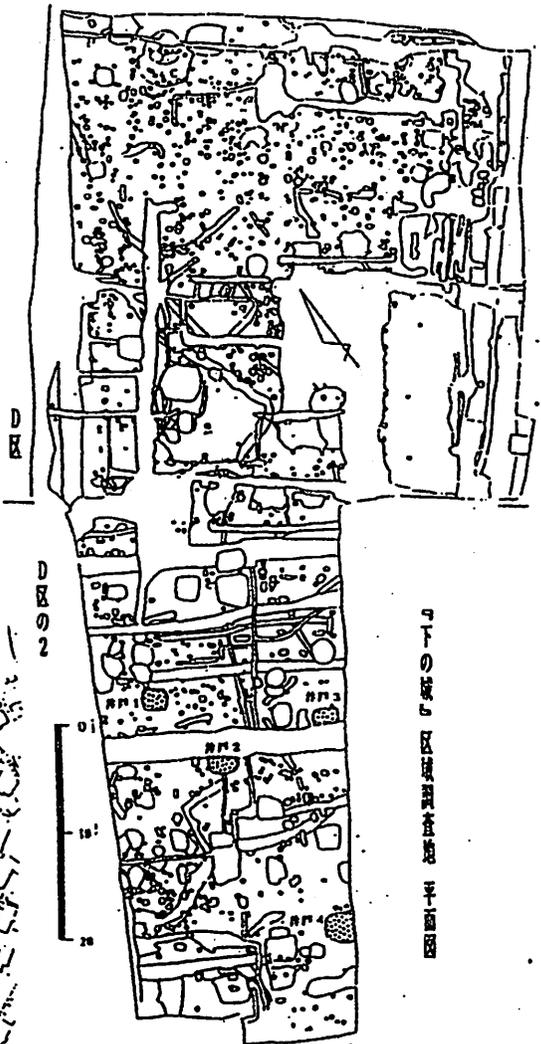
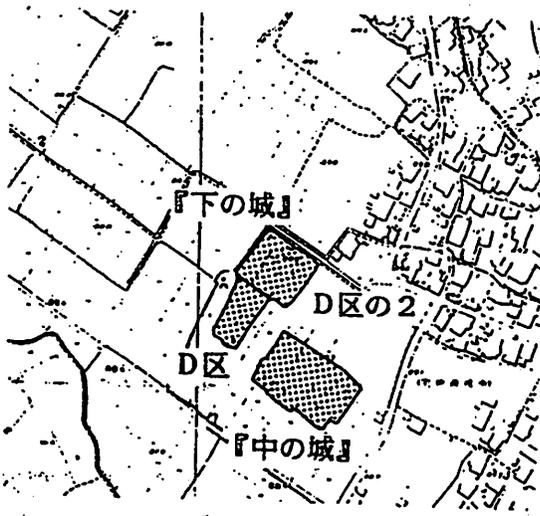


▲ 八ノ坪遺跡調査平面図

### ◆ 欲賀遺跡の調査

ほ場整備に伴う発掘調査は、昨年12月より欲賀遺跡の範囲内において行っています。調査区域の一角は『中の城』、『下の城』と地元で呼ばれていて、滋賀県の中世城郭分布調査によれば欲賀城畑城にあたる位置になります。現在は『下の城』区域をD区とD区-2の2つに分けて調査を行っていて、D区は遺構掘削が終了しD区-2は遺構の検出を行っています。

D区では溝・土壇・柱穴などが密集した状態で検出されています。溝は現在の土地区画に沿っていて、幅3m程の規模です。このほか井戸が4基見つかっています。井戸の形態はそれぞれ異なっていて、井戸1は自然石を使用した石組み、井戸2は曲物、井戸3は縦板組、井戸4では切石をもちいた構造となっています。これらの遺構からは、土師器皿・黒色土器碗・釜・信楽焼の摺鉢や青・白磁などが出土しています。このほか、いくつかの土壇からは五輪塔や石仏などがみつかっています。石仏は花崗岩製でかなり傷んでいますが、印の結びから如来形とみられます。このようなことから、土壇のなかには墓になるものが含まれていると考えられ、中世の墓のあり方を考えるうえで貴重な遺構といえます。



▲ 欲賀遺跡調査位置および平面図

番号	遺跡名	所在地	調査原因	調査期間	調査面積	主な検出遺構	時代
1	酒寺遺跡	播磨田町	店舗建設	4/1~6-1/25	約10,000㎡	竪穴住居、環濠、古墳跡等	弥生時代中期~古墳時代
2	欲賀城遺跡	欲賀町	駐車場整備	4/1~6-3/18	約10,000㎡	区画溝、掘立柱建物、井戸	弥生時代~戦国時代
3	二町鏡遺跡	二町町	共同住宅	4/1~4/19	約500㎡	掘立柱建物、井戸	鎌倉~室町時代
4	寺中遺跡	矢島町	農用倉庫	4/12~4/17	123㎡	溝、柱穴	弥生時代前期~中期
5	川原田遺跡	川田町	店舗建築	4/21~4/28	200㎡	土城	古墳時代前期
6	布施野城遺跡	播磨田町	宅地造成	4/19~5/21	1,267㎡	溝、掘立柱建物	鎌倉時代
7	伊勢遺跡	伊勢町	共同住宅	4/23~6/10	2,280㎡	掘立柱建物	鎌倉時代
8	煥魔堂遺跡	煥魔堂町	店舗建築	5/13~6/10	900㎡	竪穴住居、掘立柱建物、溝	古墳時代~平安時代
9	金森東遺跡	守山町	個人住宅	5/10~5/16	185㎡	竪穴住居、土城	古墳時代前期
10	金森東遺跡	守山町	個人住宅	5/10~5/16	145㎡	竪穴住居、土城	古墳時代前期
11	下長遺跡	古高町	工場用地	5/15~9/16	5,072㎡	竪穴住居、溝	縄文時代中期~古墳時代
12	伊勢遺跡	伊勢町	個人住宅	5/15~5/29	500㎡	方形周溝墓、溝	古墳時代前期
13	吉身西遺跡	守山町	個人住宅	5/27-28	398㎡	耕作痕、土城	弥生時代後期~近世
14	伊勢遺跡	伊勢町	共同住宅	6/7~6/12	1,308㎡	耕作痕	近世
15	大洲遺跡	河村町	道路改良	6/21~9/30	2,880㎡	竪穴住居、溝、井戸	弥生時代後期~古墳時代
16	吉身西遺跡	下之郷町	道路改良	7/21~9/20	1,500㎡	方形周溝墓	弥生時代中期
17	二ノ畦遺跡	守山町	共同住宅	7/4~7/10	352㎡	方形周溝墓	弥生時代中期
18	吉身西遺跡	守山町	共同住宅	8/12~8/24	909㎡	方形周溝墓、溝	弥生時代中期、近世
19	伊勢遺跡	伊勢町	共同住宅	9/21~10/15	500㎡	竪穴住居、井戸、溝	弥生時代後期
20	古高城遺跡	古高町	共同住宅	10/1~10/15	500㎡	掘立柱建物	鎌倉時代
21	寺中遺跡	矢島町	個人住宅	10/13-14	358㎡	溝、柱穴、土城	弥生時代前期~中期
22	益須寺関連遺跡	吉身町	道路改良	10/20~	1,000㎡	溝、柱穴	奈良時代~近世
23	伊勢遺跡	伊勢町	区画整理	10/26~	10,000㎡	大型掘立柱建物、溝等	弥生時代後期~鎌倉時代
24	酒寺遺跡	播磨田町	店舗建築	11/ ~1/8	800㎡	方形周溝墓	弥生時代後期~古墳時代
25	吉身西遺跡	守山町	個人住宅	12/1~12/3	268㎡	河川跡	近世
26	八ノ坪遺跡	播磨田町	宅地造成	12/13~	約10,000㎡	方形周溝墓、溝、柱穴列等	弥生時代中期~古墳時代
27	吉身西遺跡	守山町	河川改修	1/17~	1,817㎡	旧河道、水田、掘立柱建物	縄文時代晩期~平安時代
28	二ノ畦遺跡	守山町	店舗建築	1/20~	930㎡	環濠、竪穴住居	弥生時代中期
29	酒寺遺跡	播磨田町	個人住宅	2/28~3/11	694㎡	掘立柱建物、土城	古墳時代後期
30	益須寺関連遺跡	吉身町	道路改良	2/9~3/3	300㎡	掘立柱建物	平安時代中期
31	酒寺遺跡	播磨田町	区画整理	2/14~2/25	180㎡	柱穴、土城	弥生時代後期
32	益須寺関連遺跡	吉身町	共同住宅	3/1~3/17	200㎡	掘立柱建物、溝	弥生時代後期~平安時代
33	二町鏡遺跡	二町町	宅地造成	3/1~3/8	1,164㎡	濠、溝	中世
34	酒寺遺跡	播磨田町	店舗建築	3/10-11	90㎡	土城、溝	縄文時代後期
35	下之郷遺跡	下之郷町	公共下水	11/~1/	1,450㎡	土城、柱穴、環濠	弥生中期
36	伊勢遺跡	伊勢町	公共下水	10/~1/	606㎡	溝、土城	弥生時代後期~古墳時代
37	酒寺遺跡	播磨田町	公共下水	3/	319㎡	溝、土城、石棒	縄文時代後期~平安時代
38	八ノ坪遺跡	播磨田町	公共下水	11/~12/	200㎡	溝	弥生時代中期

平成5年度発掘調査一覧表